



# SHINKAI NEWS

# 日署

あけぼの

発行責任者

福岡県議会議員

**新開 昌彦**

福岡市早良区曙2丁目1-35

e mail:

[shinkai\\_masahiko@hotmail.com](mailto:shinkai_masahiko@hotmail.com)

Vol. 13 平成14年4月2日発行

## 学校図書館の活性化を求める

### 専任司書の配置で 図書貸出が50倍に！



石川県松任市立北星中学校の図書館を視察  
左から浜崎県議、香城校長、水原司書、新開県議

石川県松任市では、平成10年から市内13小中学校全校に専任司書の配置を行いました。

私が訪問した市立北星中学校香城校長は「専任司書の配置は大成功。学校が落ち着き、学級崩壊、いじめ、不登校などもなくなりました。」と語っていました。

10分休みには、図書館があつという間に生徒で満杯になりました。「一日平均300人が図書館を利用します。」と語る水原司書の横顔は爽やかで自信に満ちていました。

#### 専任司書の配置効果

図書館の開館時間の拡大 児童生徒の希望図書を購入 図書便りをほぼ毎週発行  
授業で利用 図書利用が飛躍的に増大 図書館が心和む場所になった。

## 新開県議の一般質問

平成15年度から12学級以上の学校には司書教諭が配置されます。司書の配置をあやまたずに行うために当局に質問しました。

松任市では、専任の司書と学校が連携し図書館を核にした取組みを行い、学級崩壊、いじめ、犯罪がなくなったという実例を引き、有能な司書の配置は、学校を大きく変えることができることを紹介。

福岡県の司書配置計画と考え方を質問しました。

## 答弁

司書配置の現状は、小学校775校、中学校343校の約45%、高校111校は100%の配置状況。学校図書館の図書充実のため学校ごとに図書の点検整備を行う。

県立高校の図書館利用と活性化を図ると共に再編校は新しい学校作りのために図書館を要としたい。

司書の資質向上のため研修会を充実していく。

4月23日は読書の日。書店にも協力をお願いする。

### 県立総合射撃場の改修工事が完了

私は、12年10月鉛で汚染された土壌を自ら採取し、九大の森教授の協力を得、鉛弾、土壌を議場に持ち込み当局を厳しく追及しました。

県は、改修費8億9700万円をかけて鉛弾45t、鉛弾を含む土壌275t、汚染土壌12553tなどを除去し、場内を舗装し鉛を回収しやすくし、今後も水質検査、土壌検査も継続できる施設に生まれ変わりました。



これで一安心です



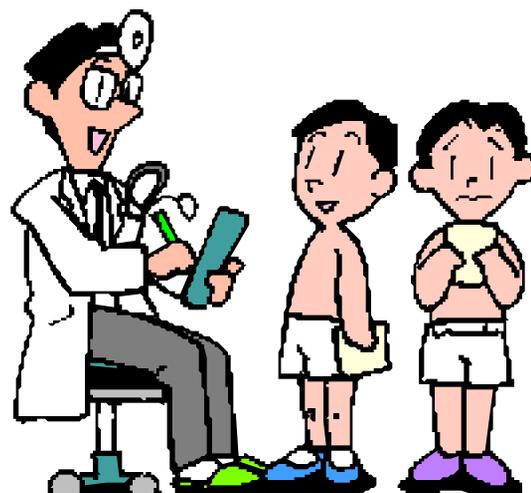
改修された射撃場内で地域の人と

# 新生児の聴力検査体制の検討に着手

現在、誕生する新生児の内「両側難聴」は1000人のうち1~2人、「片側難聴」を含めると1000人に5人いると言われていたますが、三歳児健診での検査では遅すぎます。新生児の段階で早期に発見し、適切な治療を行えば、健常児と同程度の言葉が話せるようになるとも言われています。

公明党は、今議会で「検査・治療体制の速やかな確立」を訴えました。

県当局は「検査のあり方、あるいは発見後のフォローなどの課題があり、医師会など関係団体を含めた検査体制の検討に着手したい」と答えました。



## ブックスタートが県内35自治体で実施

新開県議は、昨年5月「母と子の笑顔輝くヤングママの会」の皆さんと麻生知事にブックスタートの早期実施を求めました。また、同会は、県下73市町村長に対して同様の要望をしました。

更に新開県議は、同年6月議会で知事、教育長に対してブックスタートの重要性を訴え、市町村に対して強く啓発するよう求めました。

その後、県教委は、県下の市町村教育委員会を一堂に集めブックスタートの重要性を説明しました。

### 14年度ブックスタートを実施する自治体

合計35市町村(8市26町1村)

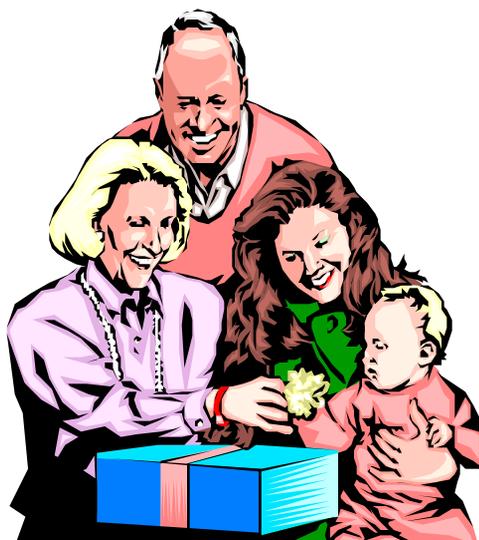
本を手渡し、意義について話す自治体

\* 朝倉町、\* 水巻町、\* 田主丸町、\* 稲築町、\* 添田町、那珂川町、宇美町、久山町、志免町、福岡町、前原市、志摩町、三輪町、中間市、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、久留米市、小郡市、北野町、城島町、矢部村、香春町、金田町、豊前市、築城町

本は渡さないが、リストなどを手渡し意義について話す自治体

\* 篠栗町、\* 方城町、福岡市、北九州市、太宰府市、芦屋町、新宮町、杷木町

\*印は、13年度から継続する自治体。



## 4月から二丈町で遠距離通学に助成 柴戸町議と連携

二丈町では、14年度からJRや自転車を使い小・中学校に遠距離通学している生徒の定期券代や自転車購入費の一部を助成します。対象は福吉小学校と、福吉、二丈両中学校に遠距離から子どもが通う家庭。JR定期券代の3分の1、自転車通学する中学生には入学時に5000円を補助します。

東西に約16キロの同町には3小学校、2中学校があるが、遠距離の場合、JRの1カ月の通学定期券代が小学生で1310円、中学生で2630円にもなるなど家計を圧迫している。特に複数の子どもが通学している場合は負担も大きいことから、町議会公明党の柴戸ユイ子議員が粘り強く町当局に要望。県議会でも新開昌彦議員が、「県から町に助成措置を取るよう助言を」と一般質問のなかで求めていたことが実現しました。

